

文教厚生常任委員会資料
2025年(令和7年)12月12日
教育委員会あかし教育研修センター

## 議案第79号関連資料 デジタルドリルの更新について

児童生徒用タブレット端末上で利用できるデジタルドリルについては、令和4年4月から利用を開始し、今年度末をもって現行の賃貸借契約が期限を迎えることから、令和8年4月からの利用開始に向けて債務負担を行うものです。

### 1 現状

GIGAスクール構想第2期(NEXT GIGA)を推し進める中で、タブレット端末を活用した学習は今後さらに拡充する必要があり、また、全国学力・学習状況調査のCBT(Computer-based testing)化が進められている背景もあり、デジタルドリルの重要性は高まっています。

### 2 AIドリル

昨今、AI機能を持たせたデジタルドリルが主流となってきております。

AI技術を用いて学習者の解答パターンを分析し、間違えた箇所には基礎的な問題や類題を、正答した箇所には応用問題を出題するなど、児童生徒一人ひとりの理解度や習熟度に合わせて問題が自動で出題されることで、個別最適な学習を支援する機能を持っています。

一定の学習効果も見込めるものと考えており、今回の更新でAI機能を搭載した次世代型デジタルドリルを導入する予定です。

### 3 内容

- ・事業費 38,000千円
- ・債務負担期間 令和8年度
- ・選定方法 公募型プロポーザル方式
- ・契約方法 賃貸借契約(1年契約)

(参考) 現行製品

東京書籍 タブドリ live! ※AI機能なし

令和7年度予算 30,000千円

### 4 実施スケジュール

令和8年1月	公募型プロポーザルの公告
令和8年2月・3月	業者選定・契約
令和8年4月	利用開始